

# 九州西海岸 (下関 ~ 長崎 ~ 鹿児島)

1987年 12月 27, 28, 29, 30, 31日

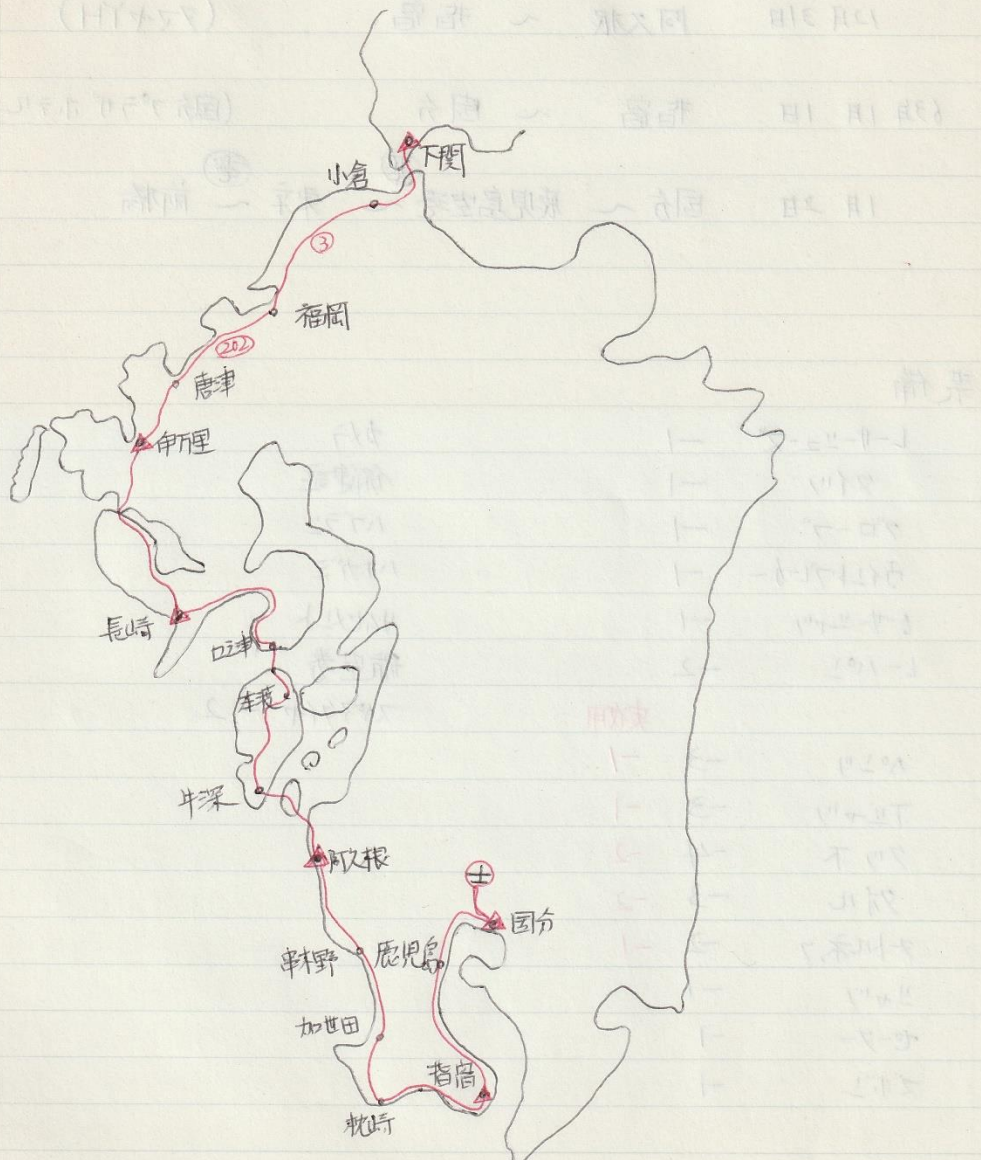
1988年 1月 1, 2日

6泊7日

費用 ¥126,143-

走行距離 700km

ロードレーサー使用



\*\*\*\*\*  
 \*\* チャリンコ旅日記 No.13 \*\*  
 \*\* Resistance Of My Mind 19911215 \*\*  
 \*\*\*\*\*

【 1987年12/27日から1/2日 下関市 から 鹿児島市 700Km 】

【 12月27日(日) 】 晴 走行距離 18Km  
 新前橋駅 — 東京 — 下関市 走行時間 50分

4:40 自宅 出る 車	14:25 新下関駅 出る TEL ¥10-
5:12 新前橋駅 出る	15:15 火の山YH 着
新前橋〜下関 ¥20000-	YH ¥2200-
手回り品 ¥250-	フィルム ¥850-
8:12 東京駅 出る	赤間神宮 ¥40-
ひかり121号 朝食 ¥1000-	甘酒 ¥200-
昼食 ¥900-	日清講和記念館
14:07 新下関駅 着	火の山m-7°ウェイ ¥400-
	ジュース ¥200-

今年の夏は体調が優れず、2カ月程通院をしていた。そのため、北海道旅行を計画したが実行しなかった。はたして、今回の九州の旅は無事に行けるか不安だった。

出発の数日前まで、旅行を中止する気持ちが強かった。不安と苦しみのある旅には行きたくなかった。しかし内心、行かなくてはという気持ちもあった。出発の2日前に、仕事が終わってから行きつけの自転車屋に行ってみた。今回は、体調の負担を軽くするために、今までの様な重たい自転車ではなく、軽いロードレーサーを使うつもりでいた。そうすると、荷物は全てリュックで背負わなければならない。また、タイヤも予備を持って行かなくてはならない。自転車屋で旅の小物は整いいよいよ、前日の夜、自転車を部屋で分解しはじめたら、ハンドルが抜けにくい。ふだん練習で使っていて汗がしみこんで錆びてしまっているようだ。ハンドルが抜けないと、旅行に行けない。油を挿したり金槌で叩いたり、少しずつハンドルを抜いて行った。なんと、2時間半もかかって、ようやくハンドルを抜くことが出来た。

翌朝、4時に起きて出発の用意をする。父に車で新前橋駅に送ってもらうのは、これで3回目。そして、東京駅でひかり121号を待つのも3回目。

下関も3回目。これほど足を運んだ町はない。懐かしさに喜びながら、前橋から12時間で下関火の山YHにやってきた。

【12月28日(月)】 快晴

走行距離 170Km

下関市 — 福岡市 — 伊万里市

走行時間 9時04分

6:33	起床	薄暗い	コッ	¥100-	12:00	福岡市	
7:10	YH出る				36	休み	ハソ、ジュース ¥368-
32	門司港駅				45	出る	
8:00	小倉駅				13:16	休み トイレ	ジュース ¥100-
44	桃園	休み	弁当	¥480-	20	出る	
9:02	出る		ジュース		14:25	虹の松原	休み ハソ ¥280-
26	後輪パンク				35	出る	ジュース
44	出る				15:56	伊万里駅	
11:26	休み	サトイッチ、ゼリー		¥330-	16:14	新伊万里ホテル	素泊まり ¥4000-
35	出る	ジュース					カトソ、チャンボソ、ビーレ ¥1250-
							ケーキ ¥330-
							タヤ、ヒゲソリ ¥2080-

朝、目覚めるとまだ暗い。周囲の人達に迷惑を掛けると悪いので荷物を廊下に出して着替える。外はうっすらと朱色に染まり関門橋が淡く見えている。紅茶を一杯飲んで、YHを出る。

関門橋の人道では、昨年料金を払わなかったので、50円を入れてきた。九州に歩いて渡って門司駅に着いた頃は、ちょうど通勤時間帯。混雑する車におびえながら、福岡を目指す。多くの人が働いているのに、自転車で遊び廻っている自分が申し訳ない。2時間程走って、さっそく自転車の後輪がパンクしてしまった。予備のタイヤは、2本持っているのので、10分程で交換したが、予備1本だけでは先行きが不安である。自転車で走りながら、大きそうな自転車屋があると、立ち寄って見たが、肝心のタイヤはおいてなかった。

12時頃、福岡市を通過。昼食も取らずに走り続ける。しかし、唐津市の手前の虹の松原に入るとお腹がすいてへとへとになっていた。松原のなかを走る道は、変わらない景色が途切れる事なく続き疲れを倍増させる。途中で小さなドライブインを見つけ、やっと休憩にした。それでも食べたのは、パンとジュースだけだったが元気になって、また走り出す。そして、1時間半程で伊万里市に到着した。駅で旅館を斡旋してもらい16時には、ホテルに落ち着くことが出来た。

【12月29日(火)】 霧/晴

走行距離 90Km

伊万里市 — 西彼町 — 長崎市

走行時間 7時38分

6:07	起床		12:44	長崎平和公園	フィルム、ミカ、電池
52	出る	薄暗い		小春日和	¥1350-
7:27	休み	パン、ジュース ¥200-	13:20	出る	
33	出る		53	長崎県庁	
8:20	針尾 岳の田	霧がすごい	14:30	長崎オランダ坂YH	着
29	休み	西海橋 針尾瀬戸		長崎散策	グラブ ¥600-
40	出る	トル		大浦	¥250-
9:07	オランダ村	入村¥2500-		YH	¥2500- 食事 ¥800-
11:28	出る	サカイ学園佐藤		目薬	¥630- みやげ ¥21800-
				ケーキ	¥380- 夜景タケ ¥830-

今日の第一目的のオランダ村には、9時に到着。9時半の開園まで時間があり、風車お見上げる赤いレンガの入り口で待つ。次第に観光客が集まりだし、2500円のパスポートを買って中に入った。売店を通り抜けて園内に入ると、オランダをまねた建物と、花壇にはパンジーが咲き誇っている。入り江には、海賊船が浮かび対岸の村との間を観光船が行き来している。そして、オランダの人。風車小屋。1時間半程でそこを出る。

オランダ村の前で、出発の用意をしていると、一台のトラックレーサーが坂道を登ってきた。(トラックレーサーというのは、自転車の車種のピスト車で競輪場で走るための自転車。切り替えギアがなくて走っている途中で足の回転を止める事ができない自転車。) 話かけたら、彼は長崎市内の高校生だった。私が、これから長崎へ行くと言うと、「いっしょに行きましょう。」と言う事になって、彼に案内されて長崎市内へむかう。それにしても、彼は現役の選手、私は苦しくて苦しくて、でも何とか彼にくっついて長崎市内までの30Km程を走り抜いて、長崎平和公園の入り口で彼と別れた。

広島で見た戦争の傷跡、長崎で見た戦争の傷跡。長崎の平和の像、天を指す右手、地に水平に延びる左腕の上には平和のシンボル鳩が憩う。像の手前の噴水にはこんな碑があった。

.....

のどが乾いてたまりませんでした

水にはあぶらのようなものが

一面にういていました

どうしても水が欲しくて

とうとうあぶらの浮いたまま飲みました

～あの日のある少女の手記から～



【12月30日(水)】

晴

走行距離 166Km

長崎市 — 牛深市 — 阿久根市

走行時間 9時30分

5:40	起床	11:46	休み R266	ジュース ¥100-
6:30	オランダ坂YH 出る	50	出る	
7:04	休み カレージュース ¥385-	12:16	休み 山の中	パンをかじる
19	出る	21	出る	
8:24	休み トイレ	13:30	牛深市 フェリー乗り場	¥500-
30	出る	14:00	出る	カレー ¥450-
55	小浜町	37	長島町蔵之元 出る	ジュース ¥100-
9:53	口之津町 フェリー乗り場 ¥420-	15:30	黒之瀬戸大橋	
10:15	出る パンジュース ¥300-	16:00	阿久根駅	
11:00	天草下島 鬼池 着		ビジネスホテル ヒノデ	¥4000-
26	本渡市		夕食 コーヒー 飲み	¥1450-
			ケーキ、ビール	

夜中に激しい雨音が時々聞こえていた。夢うつつで今日の旅を案じ、胃の痛みに耐えていた。まだ暗い内に目覚め、出発する。雨は上がり、風が強い。オランダ坂を下って市内へ出る。昨夕、YHに着いてから歩いて市内を散策したが、眼鏡橋を見なかった。それで、今朝、見ようと思ったが結局見られなかった。今朝は、朝方から胃が痛くて気分が優れない。走り出して1時間程で日らだに不調を感じて、セブンイレブンで休む。

島原半島の口之津からフェリーに乗って天草下島へ渡る。30分程で鬼池港に着く。天草の道はすいていて、下島を縦断するR266は山間を走る静かな道で周りに何も無いのが不安の種。2時間半程で牛深の港に着く。フェリーの出港時間を確認してから近くの喫茶店で休む。静かな牛深の港に、熊本市内の女子高生が殺害されて沈められていた事をニュースで知り驚いた。

再び、フェリーで九州本土に戻り、黒之瀬戸を橋の上から眺めながら渡り、阿久根市内でホテルを探して落ち着く。ホテルでシャワーを浴びてベッドに横になると疲れていたのか、1時間程眠ってしまった。寝て起きると私は、生きることの全ての機能が停止してしまうと思える程、全身の力が抜けてしまって恐い思いをした。

ゆっくり起きて着替えて街へ夕食を食べに出る。途中、ケーキを買って食堂に入ったが、ビールの中ビンさえも半分しか飲めない状態だった。

夜、西郷隆盛のドラマ「田原坂」を見ながら、いつのまにか寝てしまっていた。

【12月31日(木)】 曇/晴

阿久根市 — 枕崎市 — 指宿市

走行距離 151 Km

走行時間 7時41分

7:10 起床	12:36 枕崎市
54 ホテル 出る	48 休み かつどん ¥550-
9:02 川内市 休み ほかほか弁当	13:13 出る 胃薬飲む
しょうが焼き定食 ¥520-	29 休み トイレ
24 出る	32 出る
10:12 休み ジュース ¥100-	40 休み 額い町 ファイル ¥810-
20 出る 薬を飲む	50 出る ジュース ¥100-
11:40 加世田市	15:17 指宿駅
11:54 休み トイレ	35 タマヤYH着 ¥3000-
57 出る	ケーキ ¥680-
	温泉 ¥80- みやげ ¥450-

今日は冬らしく寒い。太陽は、うっすらと顔を出しているだけで、温かみは伝わってこない。走っていても足先が冷たい。体調も変だ。胸苦しい様な気分で走っていて、途中で倒れるのではないかと、不安だった。途中、ジュースで薬を飲み、枕崎市に入ったのは、お昼。天気はうす曇。何故か、街中が静かだ。枕崎を過ぎると、三角形の開聞岳が目の前に見え始める。でもいらかかすんでいる。開聞岳の麓の道の両わきには大根が干されている。その数が多くて壁の様になっている。

指宿駅についてからYHを探す。ここには、2件のYHがあり私が泊まるYHは、有名な砂風呂の海岸と道路を挟んで反対側にあるみやげ物店の二階だった。まだ宿泊者は、私一人。とんでもないYHに泊まってしまったと思っていた。YHで受付をしてから、街へケーキを買いに出かけた。そして、そこで逢ったきれいな女性が、このYHの娘さんだったとは、YHに帰ってからわかった。私が、大広間のコタツにあたりながらケーキを食べていたら、女性の声が入ってきた。彼女はYHの主人と何か話をして奥の部屋に入った。その女性は、さっき、街で逢った女性で、夏子さんという。

次第に人数が増え、今日の宿泊は7名。残念なことにみんな男。部屋にいるトラ猫もオス。大晦日とあって、みんなでテレビを見ながらYHの主人と酒を飲んでいて。夜中になって、みんなで近くの神社に初参りに出かけた。神社で御神酒をもらって、帰って寝たのは1時すぎ。なんとか、予定通り指宿で初日の出を見られそうだ。旅も終わりに近づき、安心している。

【1月1日(金)】

晴

走行距離 91Km

指宿市 — 鹿児島市 — 国分市

走行時間 4時33分

7:10	起床	12:06	ザビエル協会
9:24	YH 出る		西郷隆盛像
25	後輪パンク	12:25	鹿児島市内
43	出る	14:00	国分市
10:04	休む ジュース ¥100-		国分プラザホテル ¥5300-
09	出る ウインドブレーカ 脱ぐ		昼食 ¥1000-
11:46	天保山公園		ビール・ツミ ¥1700-
	坂本竜馬新婚の旅の碑		夕食 ¥1100-

朝目覚めてすぐに、YHの前の砂むし温泉のある海岸に行く。大隅半島の山並の上には雲がある。昭和63年1月1日の初日の出を薩摩半島の先から見られるとは、あまり期待していなかった。ここまで来られたことが嬉しい。20分程待ったろうか、雲の縁が明るく燃え出してようやく太陽が顔を覗かせた。今年こそ彼女が出来ますようにと願いながら、しばらくたたづんでいた。

YHに戻って、朝食をとる。今回の旅で始めて、朝食を食べた。今日の行程は短いから余裕がある。朝食後、元気よくYHを出発したかな、という感じでパンク。背中にはまだ、見送ってくれている人の視線を感じている。しかたなく路地を曲がって、隠れてパンクの修理をする。一日からパンクとは、先行きの不安を感じるが、気を取り直して出発。錦江湾の左岸を桜島を右前方に見ながら北上する。走りながら見る海岸には丸い溶岩がゴロゴロしている。鹿児島市内で西郷隆盛の銅像を見学する。以前から見たくて予定していたが、銅像を見てがっかりした。犬がいない。それに、浴衣を着ていない。私は、上野公園の西郷隆盛の像と同じ物をイメージしていた。意に反して、そこに立っていたのは、いかめしい軍服姿の西郷隆盛だった。

午後2時、国分市に到着。今晚の宿を探す。昨年泊まったホテルは何となく休みのよう。しかたなく、市内を探してみたが、良さそうな宿がない。しかたなく、また、去年のホテルまで来て中に入ってみたら、営業していた。さっそく受付をして部屋でやすむ。夕食も去年と同じレストランでとりたかったが、残念ながら休み。しかたなく、ホテルで夕食をとる。今回の旅の最後の晩、轍の跡を回想していた。

【1月2日(土)】 晴/曇/晴

国分市 — 東京 — 前橋市

走行距離 14 Km

走行時間 52分

6:00	起床		11:05	空港 出る	¥31500-
45	ホテル 出る	パン、牛乳 ¥240-	12:50	羽田空港 出る	モレール
7:37	空港 着		14:10	上野駅 出る	
56	分解完了		15:05	高崎駅 出る	
	エアポートランチ	¥1000-	16:00	自宅 到着	タッパ ¥1180-
	みやげ	¥2100-			

まだ、暗いうちにホテルを出発した。一度走った空港までの道のりが、一年前の記憶を次々に蘇らせてくれる。空港にはフライト3時間前に入り、空港の中をうろついていた。

私がのった飛行機は、小型のジェット機だった。飛行機まで下を歩いて行って、タラップで中に入った。運良く窓際の席だったが、曇っているために景色は見えない。飛行機が滑走路の端まで車の様に移動して行く。そして、最後に向きを変えてスタートの合図を待つ。まるで、陸上の選手のように。飛行機は走り出すと、スピードを急激に増して、スピードがのった所で、更にエンジン全開にした。機体が地面から離れて行くのが、足の先からおしりを通して感じられる。そして、背中に圧力を感じながら、高度の高まりを感じている。飛行1時間程で東京に到着。東京は、良く晴れていた。

今回始めて、ロードレーサーで走って、2回で九州を一周する事が出来たのは良かった。

夕方4時には自宅に到着して、自転車やへ行って、自転車の整備をしていた。





# 三回目の 下関

1227





1228

伊万里市



## 靴のタケシタ自転車部

シマノ・パールイズミ・ジディレーサー・シューズ・チューブ・ラーター・タイヤ・他  
片倉シルク・ツア・オーブ・ジャンパン・マッキンリー・他

竹下 徳弘

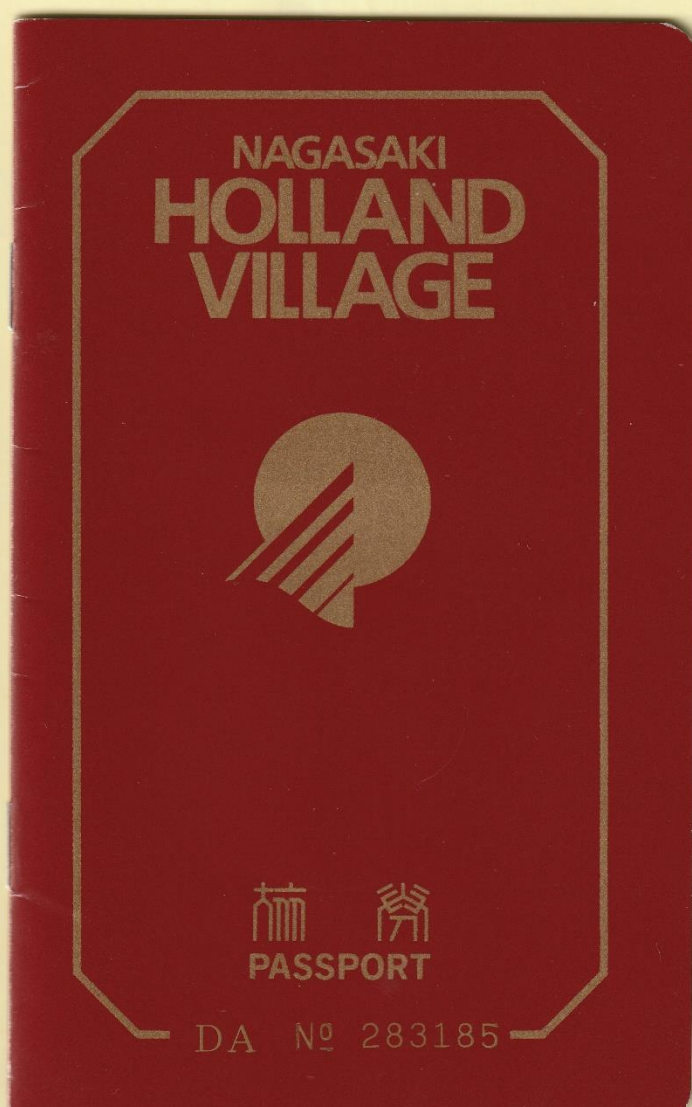
〒848 佐賀県伊万里市新天町605番通り  
TEL (0955) 23-3394







12.29  
オランダ村







1229 オランダ村







1229  
オランダ村





1229

# 平和公園



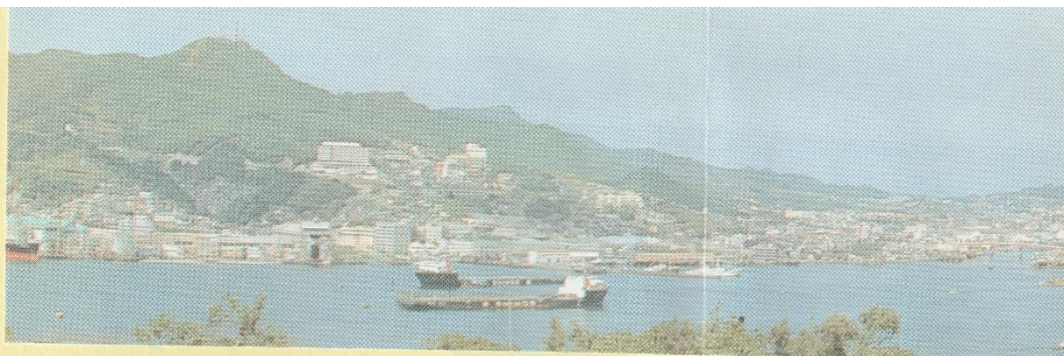




1987/2/29 平和公園







## グラバー邸 お蝶夫人ゆかりの地 (国指定重要文化財)

ここは安政6年(1859年)長崎に渡来し、貿易商を営み、わが国の文化、産業に貢献した英国人、故トーマス・ブレイク・グラバー氏の旧宅です。グラバー氏自らの設計により建てられたもので木造洋館では日本最古のものとされています。長崎港を泉水に見立て、美しい庭園をめぐらしたこの古風な洋館は歌劇「お蝶夫人」で「ある晴れた日に…」という場面を偲ばせますので、内外の観光客より「お蝶夫人ゆかりの地」として親しまれています。

Glover House : (Home of Madame Butterfly)

Overlooking the Nagasaki harbor, this house, designed and built by late Mr. Thomas Glover, an Englishman, and its well-tailored gardens provide a perfect setting for Puccini's opera "Madame Butterfly."

新しい姿の片隅に異国の香りを秘めるロマンの都長崎、またのお越しをどうぞ……



### 三浦環像

グラバー園は、オペラ「蝶々夫人」ゆかりの地。ヒロイン蝶々夫人を何度も演じ、この悲恋物語を世界的に有名にしたオペラ歌手、三浦環の記念像が建てられています。港の見える丘で帰らぬ人を待っていた蝶々夫人。その指し示す指の先に見ていたものは、ピンカートンへの一途な思いだったにちがいありません。

# 1229 長崎 グラバー邸

## 国宝大浦天主堂

(昭和八、一、二三、指定)

(昭和二八、三、三一、再指定)

文久三年十二月着工 (西暦一八六三)

元治元年十二月竣工 (西暦一八六四)

一、設計者、フランス人 ヒュレー師

一、建築者、小山 秀

一、様式、中世紀建築の代表であるゴシック式

一、由来

一、正式の名は日本二十六聖殉教者天主堂

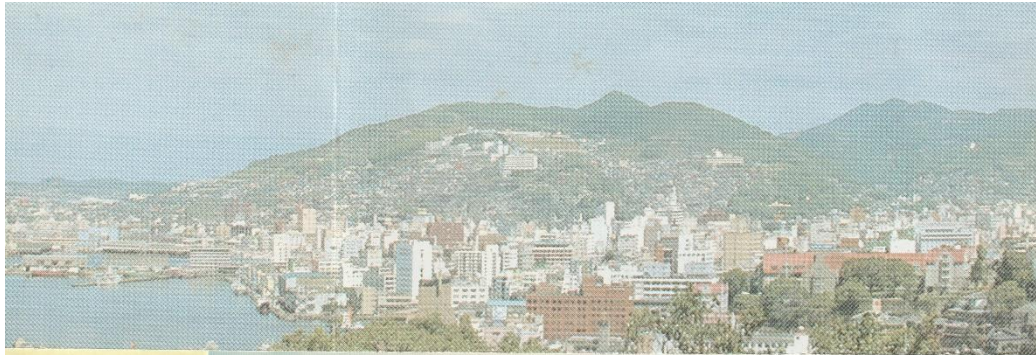
一、本天主堂に於て浦上旧キリシタンの子孫が

発見された

一、日本にある天主堂の中で最古のものである







大浦天主堂 1229

グラバー邸





島原・口之津港



天草・鬼池港



天草・牛深港



1230  
天草・鬼池港





1231

開聞岳



1231

中指宿

砂むし温泉



1988  
0101

初日の出

指宿



1988  
0101

初まいり

指宿



0101  
鹿児島市



桜島



キリスト教 伝来の地.



西郷 隆盛 像



坂本竜馬 新婚の旅の碑





19880102  
鹿児島



搭乗券  
BOARDING PASS

東京

TOKYO  
11-F 禁煙席  
No Smoking

SEAT NO.

便名

FLIGHT

日付

CA16  
83.1.02

**ANA**  
All Nippon Airways

本券は目的地までお持ち下さい。本運送は旅客運送約款（国内又は国際）によります。  
PLEASE KEEP THIS UNTIL YOUR ARRIVAL AT THE DESTINATION  
SUBJECT TO GENERAL CONDITIONS OF CARRIAGE



川崎付近